



域海底地質調査としては サンプルリングの成績は上々であった。

- 海底の層序構造は 音波探査記録海底露頭からのサンプルの微化石分析あるいは放射性絶対年代測定結果 及び陸上地質を詳細に検討して決定される。 DSDP等の海底ボーリング結果のある海域ではそれが非常に有力なデータとなる。
- 今回得られたサンプルは 大陸棚外縁及び大陸斜面からのものがほとんどである。 したがって 大陸棚・大陸斜面域の層序は 沿岸の陸上地質と大陸棚外縁部及び大陸斜面域の露頭を音波探査記録でつなげることによって決定された。 深海域の層序に関しては 日本海では DSDP Leg 31 の結果をもとに ある程度推定できたが 千島海盆の層序区分は データが全くなく不可能であった。

• 一般に第四系に広くおおわれることの多い海底の地質図は 通常の陸上地質図と同じ表現法のみでは 地質構造をうまく表現できない。 本図では 音波探査結果からわかる限りの等厚層線を入れ 伏背斜・向斜軸及び基盤の高まり等も図示してある。 また 大陸棚 大陸斜面域の地質を理解する上で重要な陸上地質も 印刷の濃さを幾分うすくして 海域と同じ凡例で示してある。 セットになっているブーゲー・フリエアー重力異常図 地磁気異常とあわせて使用すれば 千島弧 東北日本弧 樺太の接合点である当海域の複雑な海底地質構造を かなり明瞭に把握できるであろう。

100万分の1 海底地質図の新刊

# 北海道周辺日本海 及びオホーツク海 域広域海底地質図

海洋地質図 14

著 者 玉木 賢策・湯浅 真人・西村 清和・  
本座 栄一（海洋地質部）

発 行 工業技術院 地質 調査所

取 扱 先 地学文献センター（0423）62—5050

- 本地質図は 白嶺丸 GH77—3 調査航海（1977年6月14日～7月9日 20日間）の結果をまとめたものである。 調査測線は東西方向の15マイル間隔。 21地点から現地性の岩石を得ることができた。 広

地質ニュース	第304号	12月号
	定価 ¥500	千実費
昭和54年12月1日	発行	
編集	工業技術院 地質 調査所	
発行人	林 久 雄	
発行所	株式会社 実業公報社	
	東京都千代田区九段南4の2の12	
	Tel. (03) 265-0951 (代表)	
	振替口座 東京 32466	
総発売元	大蔵省印刷局 政府刊行物仕入部	
	東京都港区赤坂葵町2	
	Tel. (03) 582-4866	
印刷所	共同印刷株式会社	